

# ひろしま Agri-Food Management Program ファーマーズ Hiroshima Farmer's Table テーブル

時代と向き合い、  
新しい価値軸で  
農をマネジメントする。



開講期間 開講時間	■開講期間 2020年11月1日(日)～2021年3月6日(土)の10日間 ※日程は講義内容を参照 ■開講時間 1日あたり 4時限(360分) ①10:30～12:00 ②13:00～14:30 ③14:40～16:10 ④16:20～17:50
対 象	企業経営を目指す農業経営者、農業参入を検討されている企業、アグリ・フードビジネスに関心のある方
募集人数	20人
会 場	サテライトキャンパスひろしま等 広島県民文化センター 5階/広島市中区大手町1-5-3 他会場も全て広島市 中心部の会場です
オンライン の場合	新型コロナウイルス感染の状況から、オンラインによる実施となる場合があります。 オンラインでの実施の場合 ①自宅(等)での学修環境、②インターネット環境、③PC/タブレット等の端末が必要となります。
2期生 受講料	100,000円(税込み) *1期生の方は個別にお問い合わせください。
申込方法	締め切り/2020年10月21日(水) 以下の2つの方法からお申込みください。 ①県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)のウェブサイトから申込手続きをしてください。 <a href="http://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/events/archives/4285">http://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/events/archives/4285</a> ②「申込書(志望書付)」をウェブサイトからダウンロードし、メールまたはFAXでご送付してください。 宛先: 県立広島大学HBMSマネジメント課 E-mail <a href="mailto:mba-office@pu-hiroshima.ac.jp">mba-office@pu-hiroshima.ac.jp</a> FAX 082-251-9405 提出していただいた書類(内容)にて審査を行います。 通過者の方には、受講の案内(受講料の振込方法等)をさせていただきます。
問い合わせ	県立広島大学HBMSマネジメント課 〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71 TEL/ 082-251-9726



# ひろしまファーマーズテーブルでは、 イノベーションを生み出す農の経営戦略を 一緒に思考し、描き、多様なネットワークを 構築していきます。

2020年、世界は新型コロナウイルス感染症で劇的に変化を強いられています。国境が閉鎖され、各国の社会システムの不確実性・脆弱性が顕在化するなかで、農業もまた各国でそれぞれの強みと弱みが露わになっています。こうしたなか、生命の源であり、人と人を繋ぐ「食」への意識が高まり、その先の農家・農業へと人びとの関心が向けられています。ローカリズムの波と同時に、人びとが求めているのは、食と農の新たなフードサプライシステムの構築です。農業ビジネスは、まさに今チャンス時期を迎えています。劇的に価値観が変化する現在、日本の農業経営者は総合的な経営能力が試されています。コロナ時代の農業は、国や世界の動向を知り、自然や災害など地球規模の変化に目を向け、広い視野を持つことは必然となるでしょう。多様な分野と繋がり、「食」をマネジメントするプロデュース力を養い、生産のこだわりはもちろん、組織管理や人材育成などへの経営スキルを持つことが不可欠です。

広島県と県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)の連携で、農業経営の精鋭化や食と農のビジネスを担う人などに向けて、農と食のマネジメント講座「ひろしまファーマーズテーブル」を開講します。2年目の今年は、コロナ時代の課題に向き合い、日本の農業界で存在力のある経営体へと成長するための経営戦略を考えます。

各タームでは最先端の現場で活躍する実践的経営者をお呼びしました。ワークショップでは、皆さんが頭をフル回転し、手を動かし、対話を通して講義を実際のフレームに落とし込んでいきます。持続可能な事業成長のために必要なスキルを確実に磨いていきましょう。ゲスト講師と受講者の皆さんがテーブルを囲んでディスカッションを行うことにより、理論と実践を結び付け理解を深めていきます。

## コーディネーター 講師



吉川成美 NARUMI YOSHIKAWA

県立広島大学大学院経営管理研究科教授・博士（農業経済学）

農と食の持続可能なビジネス、里山・里海・まちの地域資源マネジメントを専門とし、農家と消費者を直接結ぶ提携／CSA (Community Supported Agriculture) に関わるプロデュースに携わる。

## 1期生の声

- 一回目の授業から、これまでの経営講座と全く違う!と実感しました。
- 最先端のビジネス現場で活躍されている名だたる講師陣が課題にそった特別な講義をしてくださいました。講義中の課題を、その後のワークショップでグループワークしていくうちに、受講生同士の繋がりが生まれ、毎回一緒に考えていくことで、どんどん理解が深まってきました。
- 先端的な講師陣と膝を詰めてディスカッションができる機会は貴重です。日常の経営に大きな示唆を頂きました。
- 「楽しい」と思えた講習は今回が初めてでした。農業に関する内容ではありませんでしたが、「経営全般」に繋がる内容も多く、すぐに取りかかれるヒントがたくさんありました。
- 成果発表で描いたビジネスモデルを現在実践しています。これからは農業は他分野と関わりが持てる成長ビジネスなのだと思っています。

## 講義内容・ゲスト講師

### ■ オリエンテーション

食と農のマネジメント「ファーマーズテーブル」とは

回	日程	曜日	講義テーマ・講師（所属・役職・お名前）	説明
1	11月1日	(日)	ポストコロナ時代の日本の農業 県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS) 教授 吉川 成美	新型コロナウイルス感染症で劇的に変化を強いらる中、農からのフードシステム、食と農のフードサプライシステムの構築について説明
			農業技術の新しい波 (株)プランテックス/HBMS 客員教授 山田 眞次郎	人工光型植物工場に特化したシステム開発等を展開中

### ■ 第1ターム 未来を創るマーケティングプラン

コロナの時代、変化するビジネスのなかでも、食と農を繋ぐビジネスに注目が寄せられています。新しい時代の食料供給システムへ、自社の強みを生かした新たな価値を提案していく経営戦略の基礎を理解します。

2	11月15日	(日)	課題を解決する農と食のデジタルマーケティング (株)キッチンハイク 代表取締役 山本 雅也	食べ歩きアプリを運営する同社は、ポストコロナの生産地を支えるアグリフードビジネスを展開中
3	11月29日	(日)	栽培データの活用で、農家の“こだわりの価値”を最大化する (株)ビッドガーデン 代表取締役社長 秋元 里奈	農家が個人や飲食店に“直接”商品を販売できるオンライン直売所「食べチョク」を運営
4	12月13日	(日)	生産者と消費者を直接繋ぐ C to C プラットフォーム (株)ポケットマルシェ 代表取締役CEO 高橋 博之	農家が直接ネット上で旬の食材を出品・販売するオンラインマルシェを運営

### ■ 第2ターム 高効率農業経営のためのマネジメント

生産性の高い組織運営を実践する農業経営者や生産性向上に貢献するアグリテック企業などのキーパーソンから、強い農業経営を行うためのマネジメント手法を学びます。

5	12月20日	(日)	企業的な農業経営のための人材マネジメント (株)井出トマト農園 代表取締役 井出 寿利 (株)BOLBOP 代表取締役 茂木 崇史	○(株)井出トマト農園 スタッフのやる気を引き出し、驚異の成長を続ける農業法人
				○(株)BOLBOP 幅広い業界で組織づくりを支援する経営コンサルティング企業
6	1月17日	(日)	IoT/AIによる農業のデジタル革命「ゼロアグリで持続可能な農業を!」 (株)ルートレック・ネットワークス 代表取締役社長 佐々木 伸一	ICTによる持続型農業(環境面と営農面の両立)について説明
7	1月31日	(日)	行動につながる実践的な課題解決とマネジメント ファームサイド(株) 代表取締役 佐川 友彦	阿部梨園の経営改善の実績をもとに、農業経営のコンサルティング会社を設立

### ■ 第3ターム ビジネスデザインの実現手法

ポストコロナ時代、顕在化した日本の農業の弱みや脆弱なシステムの課題に向き合い、日本の農業界で存在力のある経営体へと成長するための戦略フレームワークを自ら構築し、経営戦略を描きます。

8	2月14日	(日)	事業間連携による課題解決手法 (有)鍋八農産 代表取締役 八木 輝治 トヨタ自動車(株) アグリバイオ事業部 農業支援室 主査 灘波 猛	○(有)鍋八農産 200ha規模の水稲経営を行う農業法人で、ITを活用した作業改善を実践中
				○トヨタ自動車(株) アグリバイオ事業部 トヨタ生産管理方式を応用したIT管理ツール「豊作計画」により、農業者の生産性向上をサポート
9	2月20日	(土)	地域社会をリードする次世代のビジネスモデル (株)eumo 代表取締役 新井 和宏	「共感」が資本となる社会の実現を目指し、「美意識」と「人間力」を育てる組織づくりに向けた教育・投資事業を展開中

### ■ 最終報告会

10	3月6日	(土)	自社の強みを生かしたビジネスプランを立案し、発表します
----	------	-----	-----------------------------

※プログラム内容及び講師は変更の可能性があります。